

吉賀町立柿木小学校の実践



R6.10.2 柿木小学校

柿木小は こんなところ



【特色】

○島根県の最も西の鹿足郡の中央部に位置する

○全校児童53名、
5・6年は複式学級

○清流高津川の支流溪谷が複数ある

○とびの子山を南西に見る

○「有機農業の里」「棚田の里」など、特色あるふるさとづくりに力を入れている



【豊富な人材】

- ・ 農家の方
- ・ 食改さん
- ・ 公民館の方
- ・ クラブ講師
- ・ 読み語りボランティア etc.

地域との つながり

共有体験



とびの子山登山



棚田植え体験



有機農法体験



食改さんとの調理活動



アユの放流



とんど焼き



プレーパーク



クラブ活動

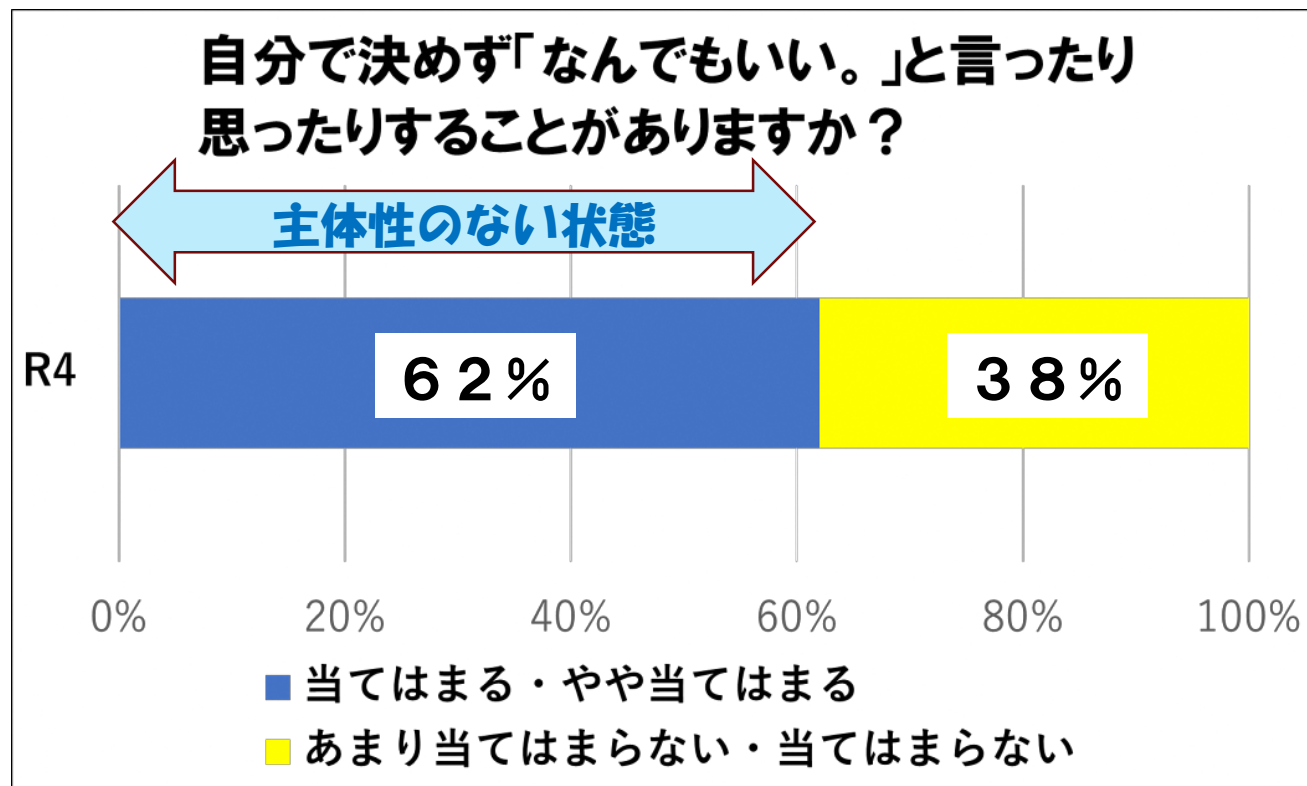
昨年度（令和5年度）当初までの子どもの実態

【強み】

- ・明るく素直
- ・まじめに取り組む
- ・異学年で仲が良い

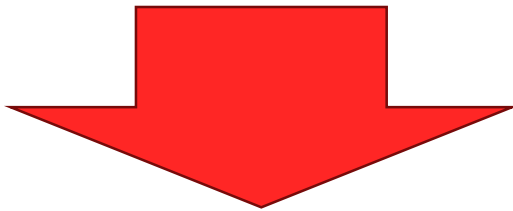
【弱み】

- ・失敗や間違いを恐れがち
- ・他の人と異なる意見を言うことをためらう



このことから・・・

- 学年間をこえて仲が良い。
- 失敗や間違いを恐れがちで、他の人と異なる意見を発表することをためらいがち。
- 自分で決めず「何でもいい」と思っている。(主体性のなさ)



お互いに主張しないことで、
関係を保っている!?

【原因として考えられること】

大人が用意した活動に参加する機会が多い

⇒子ども自らが作り出す活動の経験が少ない。

⇒新しい価値観を見出す経験が少ない。



学校教育目標
「たくましく挑戦する子供の育成」

柿木小の目指す児童像
「よく学び よく遊ぶ たくましい子供」

研究テーマ
**「自分の役割を見つけて取り組む児童の育成
～自他の大切さを認め合う集団づくりを通して～」**

研究テーマ

自分の役割を見つけて
取り組む児童の育成

～自他の大切さを認め合う

集団づくりを通して～

自分の役割を主体的に考え、取り
組む力の育成

自他の大切さを認め合う集団づくり
(居場所づくり)

他者とかかわる中で、「自分に
何ができるか」考え、実行

人から認められる良さを実感

自己有用感や自己肯定感を高める

経験の積み重ね

自分だけでなく、他者を大切にする姿勢を身につける

「場」
の
設定

具体的な取組

肯定的な評価

- ・自己有用感や自己肯定感
- ・人から認められるよさを実感

自分の役割を主体的に考え、取り組む力の育成

対話を通じた共有体験・合意形成の場の事例

- ・自分たちの力で作り上げる児童会
- ・異学年プロジェクト（異学年で協力し合って企画する集会活動）
- ・児童朝会での学年発表
- ・ステップアップトーク etc.

安心して自らの考えを表出できる風土の醸成（居場所づくり）

多様な価値観に触れる

- ・地域のゲストティーチャーとの出会い
- ・読書の推進（本の登場人物も出会いのひとつ）

「柿木小学校が日々大切にしていること（まとめ）」

柿木小教職員が日々大切にしていること（まとめ）

【知識的側面】
隠れたがキョラム・教師のモデル
 ○時間を守る（延長しない）
 ○顔を見て話す ○笑顔で話す
 ○指導する時には、理由を説明する ○教職員も一緒に楽しむ姿（生き方モデル）を見せる
 ○教職員間も楽しく・仲良く ○作る人・関わる人の思いを知らせる（相手の気持ちを知る）
 ○児童ができることは曖昧にせずきちんとさせる（職員室の入り方・言葉遣い）

【価値的・態度的側面】
自己肯定感・自信・自己決定・自己実現
 ○給食完食（自分で食べられる量⇒小さな成功体験が自信に）
 ○自分たちの思い・願いの実現 思い得するまで深く話し合う
 ○自分の思いを「言葉にする」こと
 ○「自分で決める・自分で選ぶ」場面を授業の中で作る
 ○友だちと相談したり立ちまわって開きに行ってOKな場面を作る
 ○失敗・間違いはあって当たり前。学校・教室は間違ってもいい所
 ○子どもがやってみたいことをタイミングを逃さず実行させる
 ○経験（実体験）を通して学ばせる。
 ○思い切って子どもに任せてみる覚悟
 ○自分で（自分の力で）できることは見守る

ゴールの明確化
 ○結果や成果の明確化（数値目標で）
 ○分かりやすいゴールの必要性
 ○学期ごとに（スパイラルで）目標を高めていくこと

学力保障
 ○100点（良い点）をとる経験
 ○困った時の漢字1文字テスト&九九テスト

【技能的側面】
言葉かけ
 ○認める声かけで構成する
 ○言動を認める声かけ（教員同士・児童同士）
 ○「存め方」の言葉遊び（誤学習をさせないようにする）
 ○教職員同士の児童に関するポジティブな会話をあえて聞こえる声で話す

(知識的側面) → (人権に関する知的理解)

(価値的・態度的側面) → (人権感覚の涵養)

(技能的側面) → (人権感覚の涵養)

自分の人権を守り、他人の人権を守ろうとする意識・意欲・態度

自分の人権を守り、他人の人権を守ろうとする実践行動

柿木小教職員が日々大切にしていること（まとめ）

【知識的側面】
キョラム・教師のモデル
 守る（延長しない）
 話す ○笑顔で接する
 時には、理由を説明する ○教職員も一緒に楽しむ姿（生き方モデル）を見せる
 楽しく・仲良く ○作る人・関わる人の思いを知らせる（相手の気持ちを知る）
 できることは曖昧にせずきちんとさせる（職員室の入り方・言葉遣い）

【価値的側面】
自信・自己決定・自己実現
 食べられる量に⇒小さな成功体験が自信に
 願いの実現 思い得するまで深く話し合う
 すること

共有体験の場① 委員会活動

R5 児童会スローガン

安心してください♡
楽しいですよ！
とにかく**明るい**
柿木小

楽しい学校
にしたい！

そのためには
「安心・安全」な学
校じゃないと…



R5年5月 児童総会

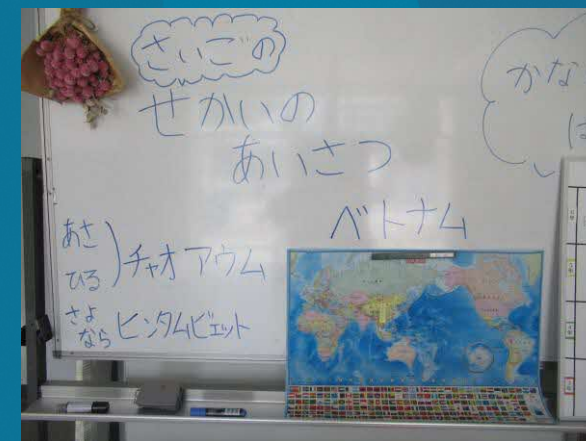
R5 委員会

- あいさつ委員会
- きれい委員会
- 元気委員会（心・体）



スローガンを達成するために、自分たちが取り組むべき課題は・・・

自分たちの思いをいろいろな形で実現したいな・・・
➡学期ごとにメンバーを変えてみよう！



今年度 児童会スローガン

安心してください♡

楽しいですよ！

とにかく明るい

シン・柿木小

新：あたらしい

進：すすんで

親：したい

神：神ってる



元気（体）委員会
全校うでずもう大会



元気（心）委員会
ほかほかメッセージ



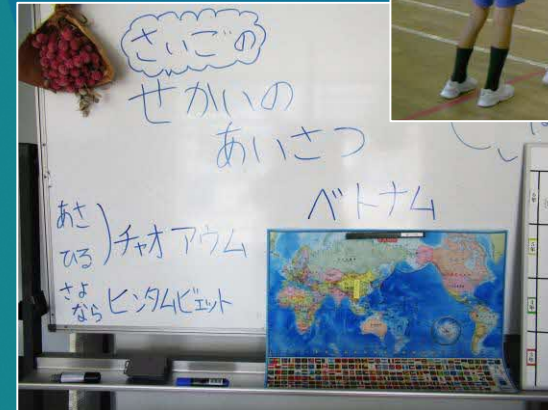
きれい委員会
シン・草ぬき大会



あいさつ委員会
「幸笑福」さがし

今年度の児童会（委員会）の取組【前期】

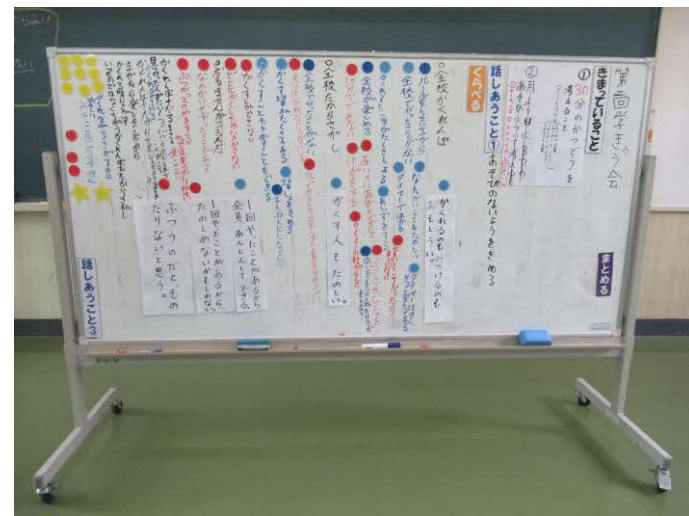
委員会	前期の活動
あいさつ委員会	世界のあいさつ週間 大きな声であいさつキャンペーン みんなのあいさつエピソード あいさつキャラクター募集&決定 「幸笑福ししょうふく」さがし
きれいな委員会	シン・草ぬき大会 スリッパそっくりさん 人権の花ロード（コラボ企画）
元気（体）委員会	全校うでずもう大会 ぴったし大会 手おしずもう大会 にらめっこ対決 赤青全校ガチドッチ
元気（心）委員会	ほかほかメッセージ （本の）賞状キャンペーン 人権の花ロード（コラボ企画）



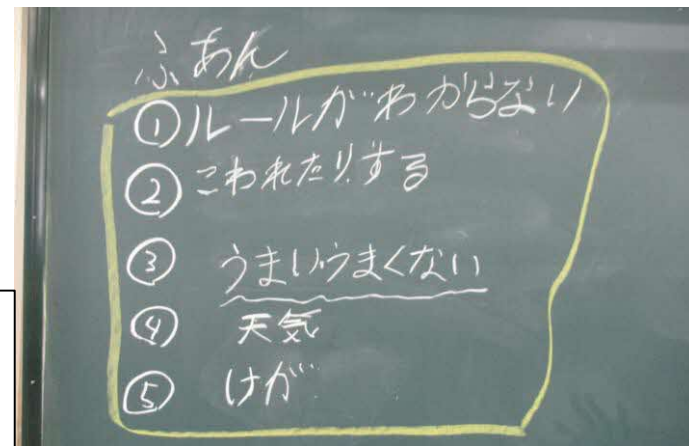
共有体験の場② 異学年プロジェクト(1)

安心してください♡楽しいですよ！
とにかく明るい柿木小

【5・6年生からのミッション】
柿木小の全員で目指したい！
だから3・4年生もぜひ！



- ・ ドット数（よい面・心配な面）に着目
- ・ 思考ツールの活用（考えの分布）
- ・ めあての確認
- ・ 他学年への配慮
- ・ 目的意識
- ・ 安全面への配慮



安心してください♡楽しいですよ！
とにかく明るい柿木小

共有体験の場② 異学年プロジェクト(1)



中学年プロジェクト
「全校かくれんぼ」

安心して下さい♡楽しいですよ！
とにかく明るい柿木小



1・2年→全校
児童朝会での
レクリエーション



4年→1年
読み語り

3年→全校
ダンボールハウス



特別支援学級→3・4年
⇒全校児童
おもちゃまつり

共有体験の場②

異学年プロジェクト(2)

設置場所の問題



学級会で相談



全ての先生にアンケートを！



ダンボールハウス、
空き教室に作成・設置



「他の学年には!?!」(アンケートより)



再び学級会



ルール・分担決定



児童朝会で告知



全学年のダンボールハウス遊びが実現

「異学年プロジェクト」
始動!

3年→全校
ダンボールハウス



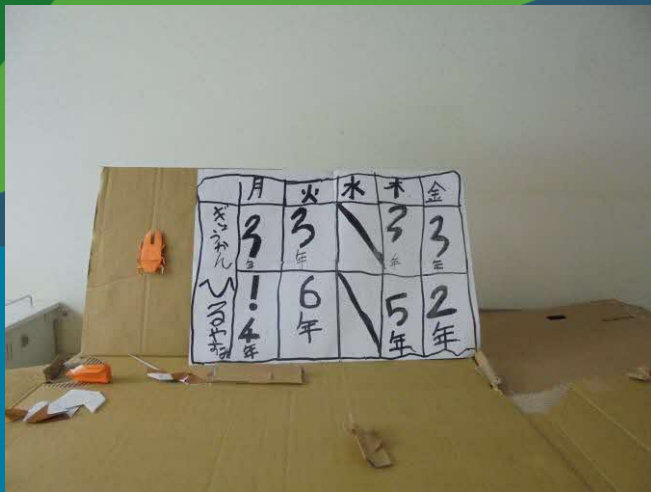
「ダンボールハウスを
作って遊びたい!!」

この思いを実現させる
には、何が必要?



共有体験の場② 異学年プロジェクト(2)

3年→全校 ダンボールハウス

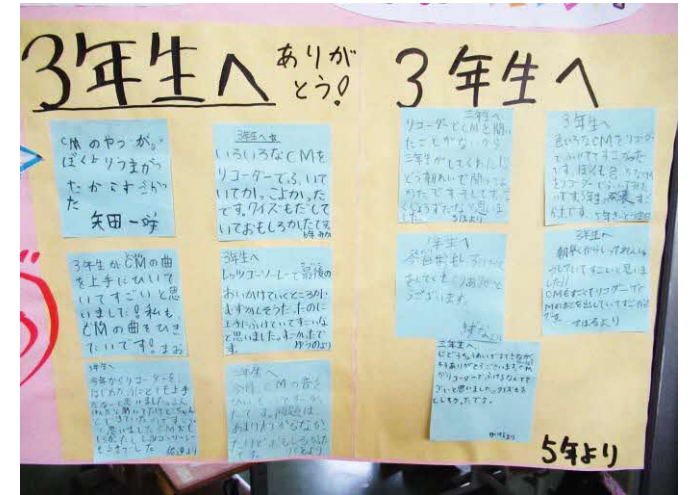


- 【子どもたちが得たもの】
- 周囲の理解と協力が必要
 - 自分たちが楽しいことは、みんなにとっても楽しい
 - 物事が解決に向かうプロセスを体験
- ⇒学習に参加する態度も改善

今年度の異学年プロジェクト（例）



掲示拡大！

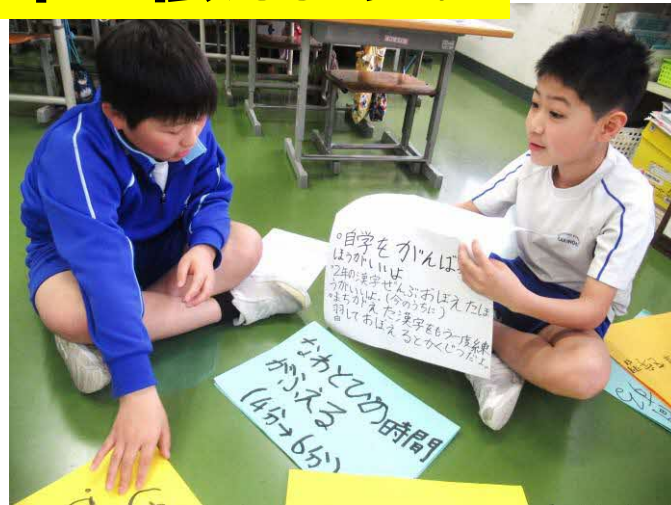


共有体験の場③

ステップアップトーク



この1年を下学年に伝えよう！



- 【子どもたちが得たもの】
- 自分の成長や課題に気づく
(自己理解を深める)
 - 他者のために自分が伝えられることを考える
(他者を大切にする)
(自分の役割を考える)

すべての子どもを すべての教職員で



スイッチ授業

すべての子どもを すべての教職員で

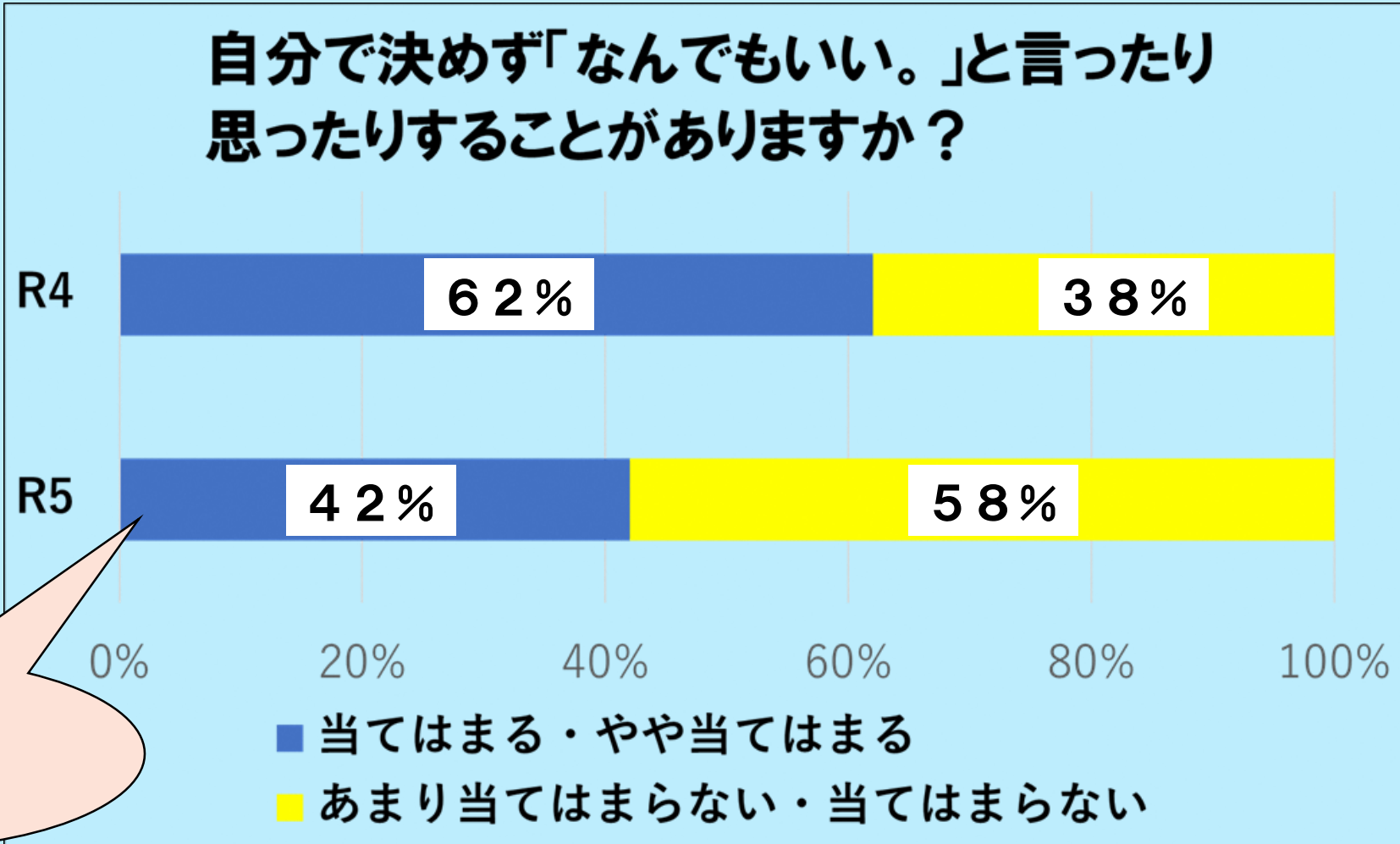
良い意味で力を抜いて子どもたちが授業を受けている。何でも話せる職員室の空気。何でも任せてお願いできる。教職員のコミュ力が高い。子どもの自由度が高い。自分が職員に守られていると感じている。

「待つ」姿勢の深化。みんなで即時対応できる（良いと思ったこと）（必要なこと）。成長や伸びなど子どもの良いところで子どものことを語る。笑顔で優しく対応している。お互いの気付きや考えを伝えあい、話し合いながら、より良い形を見出している。笑顔がたくさん見られる。積極的に取り組んでいる。忙しさの中でも楽しく取り組んでいる。教職員の関係がよい。スイッチをしたことで校内の子どもたちの様子が前より見えた！「安心してください！」が自分の指針にもなっている今年…。職員室で、「ビジョン」（目的や願いも）まで伝えやすい。職員室で雑談がしやすい。笑顔で関われる。児童の、「瞬間」よりも「全体」を見て声かけ（一瞬の飛び出しやトイレ<全体的な頑張り）。児童に対して、自信を持てる言葉がけに日々挑戦中。異なる意見に耳を傾けられる。スイッチ授業で他の学年の子ども名前を覚えた。子どもも声をかけてくれるようになった。スイッチをしたことで、いろんな先生といろんな子の話題で盛り上がった！子どものアイデアを大切にしている。企画・新しいことに取り組もうとする姿勢。見守る（信じて任せる）姿勢が増えた。子どもたちに任せよう・待ってみようという場面が増えた。失敗してもみんなは許してくれるので、頼みやすい。・話しやすい。困ったことを相談しやすい。そして、実際助けてもらえる。例年あったことを、本当に必要かどうか考えるようになった。大切なことは何なのか、よく考えて企画するようになった。スイッチ授業を楽しもうとしている。子どもの姿を丁寧に見る力。自由度が高いため、委員会担当がやりやすいし楽しい。ストレスが減っている。同僚性がアップ。職員室の居心地が良い！職員室で子どもの話（些細なことでも）を気楽に話せる。職員室内での雑談が増え、その中で困っていることをつぶやくと、誰かが助けてくれる。

成果

【R5年度. 2月 主体性アンケート「今、どんな自分かな？」】

自分で決めず「なんでもいい。」と言ったり
思ったりすることがありますか？



最後に…



参加者にも、
場を「楽しくする」
という役割がある！

それを実行した
子どもたち

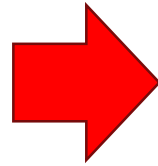
参観のポイント

【本日の授業】

5・6年：児童会活動

3・4年：学級会

1・2年：学級会



- 子どもたちが安心して活動している様子
- 自分なりの考えや思いをもって参加している姿



ご清聴、ありがとうございました！

安心してください♡楽しいですよ！

とにかく明るい柿木小